

第I章 「ここで終わりにしたいと思います」 27

一九九三年六月二十三日、ケンブリッジ／最後の問題／万物は数なり／完全無欠の証明／無数にある三つ組み数／ピュタゴラスの定理からフェルマーの最終定理へ

第II章 謎をかける人 77

数論の発展／謎の誕生／余白のメモ／フェルマーの最終定理、ついに出版される

第III章 数学の恥 129

数学のキュクロプス／遅々とした歩み／ムッシュユール・ブラン／封印された手紙

第IV章 抽象のなかへ 197

パズルとクイズの時代／知識の基礎／好奇心に突き動かされて／力ずくの計算／大学院生

第V章 背理法 271

希望的観測／一人の天才の死／良さの哲学／ミッシング・リンク

第VI章 秘密の計算 317

屋根裏部屋の隠遁者／無限との闘い／最初のドミノ牌を倒す／「フェルマーの定理が解けた？」／闇の館／コリヴァギンIIフラツハ法／世紀の講演／そして……

第VII章 小さな問題点 387

カーベット張り職人／悪夢の電子メール／誕生日の贈り物

第VIII章 数学の大統一 421

未解決の大問題／シリコンによる証明／大切なもの

補遺

463

- 1 ビュタゴラスの定理の証明
- 2 $\sqrt{2}$ が無理数であることに對するエウクレイデスの証明
- 3 デイオファントスの年齢の謎
- 4 バシエの分銅の問題
- 5 ビュタゴラスの三つ組み数が無限に存在することに對するエウクレイデスの証明
- 6 点予想の証明
- 7 不合理に迷い込む
- 8 算術の公理
- 9 ゲーム理論とトルエル
- 10 帰納法による証明の例

訳者あとがき

485

文庫版に寄せて

494